

2016年3月1日

香美市における学生(団体)の
活動実績・実態調査

依光晃一郎後援会

目 次

1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	3
3. 新聞掲載見出し検索結果	5
学生(団体)が主催・主体の事例	5
学生(団体)が参加・協力の事例	8
高知新聞特集記事	9
4. 事例抽出	10
高知大学	10
高知県立大学	11
高知工科大学	16
5. エリア別事例まとめ	23
6. 季節別事例まとめ	25
7. まとめ	27

香美市で活動する学生(団体)の実績・実態調査

1.目的

●香美市と学生の関係

工科大生を始め、香美市で様々な地域活動に参加する大学・専門学校生。「地域と学生」の連携が進み、地域・コミュニティ活動がより活発になるきっかけとして、香美市で活動する学生団体の実態調査を行う。

●学生団体の活動の維持・継続

入れ替わりが激しい学生団体。リーダーにより活動内容が大きく変化しやすい学生の地域活動の実態を前回調査(2008/1/1～2013/02/28)からの活動内容の変化を捉え、地域と学生団体との関係づくりや地域の役割について考察する。

●新たな活動の「芽」

個人で活動しているが魅力的な活動をみつけ、活動の広がりの一助とする。

●ネットワークづくり

調査結果の報告会を開催し、香美市に関わる学生(団体)の交流機会を作り、関係各団体や香美市の交流が広がり深まるきっかけとする。

2.調査の方法

1)データベース調査

- ・高知新聞社のデータベースを「(工科大学・高知大学・県立大学)」「学生」「香美市」で検索する
- ・検索期間(2013年3月1日から2016年2月29日まで)
- ・記事データの入手

2)調査内容の整理等

- ・記事内容等を把握し、地域支援事業を、「地域づくり」、「商工観光」、「社会教育」、「学校教育」、「文化」、「健康福祉」、「防災」、「安全・安心」、「技術工学」、「建築工学」、「自然環境」、「その他」に分類する。
- ・分類した各項目に対して、「地区名」、「大学名」、「実施内容(記事の見出し)」、「掲載の日」の順でまとめ、2013年3月1日以降における高知県内の大学及び短期大学、専門学校¹の地域支援授業として整理する(同一内容の関連記事も掲載)。
- ・抽出記事より、地域支援事業の事例をピックアップし、報告書に整理する。

高知新聞社のデータベース



「大学」「学生」「香美市」で見出し検索



県内大学の地域支援事業記事を抽出



大学の地域支援事業を活動内容別に整理

- ① 地域づくり
- ② 商工観光
- ③ 教育文化
- ④ 健康福祉
- ⑤ 防災安全
- ⑥ 科学技術
- ⑦ 建築土木
- ⑧ 自然環境
- ⑨ その他



地域支援事業の事例（掲載記事）の抽出

香美市で活動する学生(団体・個人)[学生(団体)が主催・主体の事例]

大学名		主体 団体名		代表者		主催		記事見出し		日付	地区	テーマ カテゴリ
1	高知大学	高①	大槻知史准教授ら			地元住民		避難所生活 140人が体験 大橋中で防災キャンプ 香美市	2013/10/06(日)	大橋	防災	
2	高知大学	高②	21.(トゥエンティワン)	岡村祭冬	香美市	香美市		青春とユスへの熱意を描く高知大生 香美市で自主映画 来月公開 地元高校生も出演	2016/02/09(火)	平山	地域づくり	
3	県立大学	県①	地域文化論(清原)ゼミ	岡崎史花				県大生が小麦収穫 香美市「ほっと平山」	2013/06/09(日)	平山	地域づくり	
4	県立大学	県①-2	地域文化論(清原)ゼミ		高知県 中山間地域対策課「結プロジェクト」			県大生支援 夏祭りも復活 香美市の平山地区 住民と協力 準備着々	2013/07/30(火)	平山	地域づくり	
5	県立大学	県①-3	地域文化論(清原)ゼミ	野々下祐生	高知県 中山間地域対策課「結プロジェクト」			平山 10年ぶり夏祭り 県大生が協力 花火に大歓声 香美市	2013/08/14(水)	平山	地域づくり	
6	県立大学	県①-4	活輝創成実行委員会	武森大和	活輝創成実行委員会			平山地区の課題把握へ 県大生 戸別訪問し調査 香美市	2013/09/18(水)	平山	地域づくり	
7	県立大学	県④	活輝創成実行委員会	阿井瑞希	高知新聞厚生文化事業財団			地域とともに 高知新聞厚生文化事業団 2013年度秋の助成10団体	2013/09/28(土)	平山	地域づくり	
8	県立大学	県①-5	活輝創成実行委員会		公益財団法人高知県文化財団			住民100人の顔アートに 香美市で芸術イベント 26日に「平山ノート」	2013/10/23(水)	平山	地域づくり	
9	県立大学	県①-6	地域文化論(清原)ゼミ		地域文化論ゼミ生13名			育てた小麦でピザづくり 県大生 住民と収穫祭 香美市	2013/12/01(日)	平山	地域づくり	
10	県立大学	県①-7	地域文化論(清原)ゼミ	武森大和	地域文化論清原ゼミ約20名			香美市平山 地域の将来話し合おう 県大生が調査報告会 住民に課題共有呼び掛け	2014/04/16(水)	平山	地域づくり	
11	県立大学	県①-8	地域文化論(清原)ゼミ		地域文化論清原ゼミ8名			「公共性ある事業を」県大生 ほっと平山に提言 香美市	2014/06/24(火)	平山	地域づくり	
12	県立大学	県①-9	地域文化論(清原)ゼミ		平山地区公民館			平山の地区課題 意見交換 住民と県大生がWS 香美市	2014/07/02(水)	平山	地域づくり	
13	県立大学	県①-10	地域文化論(清原)ゼミ	岡崎春菜	平山地区振興協議会			平山の復活夏祭り今年も 香美市 16日 県大生「継続支えたい」	2014/08/14(火)	平山	地域づくり	
14	県立大学	県①-11	地域文化論(清原)ゼミ	岡崎春菜	平山地区振興協議会			県大生協力し今年も夏祭り 香美市の平山地区	2014/08/19(火)	平山	地域づくり	
15	県立大学	県①-12	活輝創成実行委員会	平島亮介	活輝創成実行委員会			「ほっと平山」石釜再生へ 県大生 ネットで資金募る 香美市	2015/03/10(火)	平山	地域づくり	
16	県立大学	県①-14	活輝創成実行委員会	平島亮介	活輝創成実行委員会			香美市の交流施設「ほっと平山」 ネット出資でピザ釜改修 県大生の企画成功	2015/05/28(木)	平山	地域づくり	
17	県立大学	県②-1	カリキュラム(域学共生)	熊谷春乃	地域住民 (物部町久保堂ノ岡地区)			箱踊り 歌謡曲で軽やかに 県大生15人も参加 香美市物部町	2015/08/16(日)	久保	地域づくり	
18	県立大学	県②-2	カリキュラム(域学共生)	政岡直輝	土佐塩の道保存会			県大生 塩の道の魅力探る 外国人誘致など提案 香美、香南市	2015/09/24(木)	香美市	商工観光	
19	県立大学	県②-3	カリキュラム(域学共生)	沢田広大	県立大学			県大生が実習 山の現状学ぶ 香美市	2015/10/24(土)	平山	自然環境	
20	県立大学	県①-16	活輝創成実行委員会、 健援隊32名		平山地区振興協議会			山里の運動会に歓声 住民と県大生 競技に汗 香美市	2015/11/03(火)	平山	地域づくり	
21	県立大学	県②-4	カリキュラム(域学共生)	中屋俊紀	神賀神社			山あい、おまちで秋祭り 県大生や住民ら 華やかにおなほばれ 香美市の神賀神社	2015/11/05(木)	猪野々	地域づくり	

香美市で活動する学生(団体・個人)[学生(団体)が主催・主体の事例]

大学名	主体		主催	記事見出し	日付	地区	テーマ カテゴリー
	団体名	代表者					
22 工科大	工②-1	ココイコ！プロジェクト	高知工科大学 藤岡美咲	工科大生1年通し交流 茶づくりなど手伝う 香美市物部町	2015/05/19(日)	神池	地域づくり
23 工科大	工⑬	有志	龍河洞祭り実行委員会	『土佐あちこち』踊る夏祭り(香長・山本仁)	2013/09/05(木)	逆川	地域づくり
24 工科大	工④-1	11サークル約100名	宮川結衣	山田日曜市を今年も応援 17日に香美市 工科大生がイベント	2013/11/12(火)	宝町	地域づくり
25 工科大	工④-2	11サークル約100名	光国裕大	香美市の日曜市を工科大生盛り上げ 120人が「おはまる市」	2013/11/18(月)	宝町	地域づくり
26 工科大	工②-2	ココイコ！プロジェクト	遠藤竣	竹キヤンドルを共同制作 工科大生と神池地区住民23日のイベント向け 香美市	2013/12/04(水)	神池	地域づくり
27 工科大	工⑬	高知工科大生3団体	森川雄太	クリスマスキャンダルナイト実行委員会 鍾乳石 淡く輝く ろうそく、LEDで装飾 香美市の龍河洞	2013/12/24(火)	逆川	地域づくり
28 工科大	工⑥-1	工科大学YOSAKOIサークルなど	上館力也	7か国の大学生と交流 工科大でサマースクール	2014/08/06(水)	宮ノ口	その他
29 工科大	工⑦-1	KPAD	KPAD	防災 ゲーム形式で学ぶ 工科大生 住民と「運動会」 香美市	2014/10/06(月)	宮ノ口	防災
30 工科大	工⑦-2	KPAD	KPAD	『とさとピ』工科大生が県に災害義援金を寄贈	2014/12/11(木)	宮ノ口	防災
31 工科大	工⑬-2	学生による運営委員会	高知工科大学	LED3万個 工科大彩る 来月4日まで 恒例のイルミネーション	2014/12/12(金)	宮ノ口	その他
32 工科大	工⑭-1	学生団体「商品開発部」	高知工科大学渡辺高志教授 湊勇介	香美市の山の味に舌鼓 工科大生が有用植物料理 佐岡小で試食会	2014/12/22(月)	佐岡	健康福祉
33 工科大	工⑳	有志	クリスマスキャンダルナイト実行委員会	太古の岩肌 光で彩る 香美市龍河洞	2014/12/24(水)	逆川	商工観光
34 工科大	工②-3	ココイコ！プロジェクト	実行委員会	地域と学生 互いが元気に 世代を超えた協力 活力生む	2015/01/01(木)	平山	地域づくり
35 工科大	工⑧-1	工科大生6人	高石聖也 (2回生)	地域と学生つなげよう 工科大生 あすサミット 香美市「ほつと平山」活性化へ40人意見交換	2015/01/23(金)	平山	地域づくり
36 工科大	工⑧-2	工科大生6人	高石聖也 (2回生)	地域と学生 互いに刺激を 連携深化へ60人意見交換 工科大生主催 香美市平山	2015/01/25(日)	平山	地域づくり
37 工科大	工⑨-1	香美市を盛りあげ隊	ヘルスメイト(食生活改善推進員) 福田和馬	手作り料理で工科大生と交流 香美市ヘルスメイト	2015/02/09(月)	大柘	健康福祉
38 工科大	連携	P-S、KPAD、農業団体あーく	工科大6団体	工科大生6団体 活動報告 地域活性化へ連携強化を	2015/02/18(水)	宮ノ口	地域づくり
39 工科大	工⑩-1	渡辺法美教授と学生有志	物部川に感謝する実行委員会	物部川の未来守ろう ミュージカルで訴え 工科大生と片地、 野市小児童 22日香美市ソホで講演	2015/02/20(金)	宮ノ口	自然環境
40 工科大	工⑩-2	渡辺法美教授と学生有志	物部川に感謝する実行委員会	豊かな物部川残そう 児童と工科大生 ミュージカルで訴え 香美市	2015/02/23(月)	宮ノ口	自然環境

香美市で活動する学生(団体・個人)[学生(団体)が主催・主体の事例]

大学名	主体		主催	記事見出し	日付	地区	テーマ カテゴリー
	団体名	代表者					
41 工科大	工⑪-1	高田喜朗准教授と ゼミ学生8人	高知工科大学	外国語で龍河洞案内 工科大生 スマホアプリ開発	2015/04/03(金)	逆川	商工観光
42 工科大	工⑫-1	サイクリング部	香美署	餅や自転車交通安全PR 香美市	2015/05/19(火)	美良布	安全・安心
43 工科大	工⑦-4	KPAD	KPAD	野草を災害時食料に 工科大生ら 採集、調理に挑戦 香美市	201505/29(金)	宮ノ口	防災
44 工科大	工⑥-2	YOSAKOIサマースクール	香美市	小中高大 教育コラボ 香美市が推進 理科実験などで交流 地域への愛着に期待	2015/10/04(日)	旭町	学校教育
45 工科大	工⑳	香美市理科クラブ	香美市教育委員会	香美市理科クラブ指導 小中高生と工科大生 実験の面白さ探求	2015/10/15(木)	旭町	学校教育
46 工科大	工⑬-1	運営委員会	高知工科大学	香美市でイルミネーション 冬の夜 彩る 工科大はLED3万個/やなせ記念館はツリー	2015/12/21(月)	宮ノ口	商工観光
47 工科大	工㉖-2	有志	クリスマスキャンダル実行委員会	龍河洞 5000個の光彩る 香美市	2015/12/25(金)	逆川	商工観光
48 工科大	工⑪-2	高田喜朗准教授と ゼミ学生7人	高知市、高知市観光協会	高知市内観光案内 5言語で 工科大生ら スマホアプリ開発中 4月から運用予定	2015/01/27(水)	宮ノ口	商工観光
49 工科大	工㉔-2	商品開発部	日曜日(高知市)	工科大産パン 日曜市に 永国寺移転で初の出展100個完売 活動拡大ごたえ 高知市	2016/02/05(金)	高知市	商工観光
50 工科大	工⑦-6	KPAD	山田高校	園児 ゲームで防災学ぶ 山田高生と工科大生企画 香美市	2016/02/12(金)	旭町	防災
51 その他	合①-1	県内学生映像団体	NPO法人FUSE	山間集落 映像でPR NPO企画 大学生が制作開始 香美市物部町神池	2014/02/03(月)	神池	地域づくり
52 その他	合①-2	県内学生映像団体	NPO法人FUSE	移住促進PR映像コン 高知工科大が最優秀 香美市・神池地区 住民の温かさ表現	2014/03/12(水)	神池	地域づくり

香美市で活動する学生(団体・個人)[学生(団体)が参加・協力の事例]

大学名	主体		主催	記事見出し	日付	地区	テーマカテゴリー
	団体名	代表者					
1 県立大学 県③-1	学生プロジェクト「立志社中」(看護学部)		はちきん桜	原発事故 高知でいっぱい遊んで 県内団体 福島の親子招き交流	2014/12/26(金)	香美市	その他
2 県立大学 県⑥	県大生35名		アンバスマンミュージアム 周辺活性化協議会	アンバスマン館周辺 活用と活性化へ協議会 初のワークショップ 香美市	2015/07/30(木)	美良布	地域づくり
3 工科大 工①-1	有志	土居良太	高知中部森林管理署 三嶺の森をまもるみんなの会	三嶺山系 シカから守れ 食害防止へ柵設置 香美市	2013/04/29(月)	久保	自然環境
4 工科大 工①-2	有志		高知中部森林管理署 三嶺の森をまもるみんなの会	三嶺山系 サザ復元を シカ害地に80人植栽 香美市	2013/05/13(月)	久保	自然環境
5 工科大 工⑭	約70名	浜田有希恵ら	物部川21世紀の森と水の会	低木伐採で豊かな森を 工科大生ら70人作業 香美市物部町	2015/06/03(月)	別府	自然環境
6 工科大 工③	約30名	なし	西本町町内会	工科大生 祭りの協力 30人が吹奏楽や輪投げ 香美市	2013/07/09(火)	西本町	地域づくり
7 工科大 工⑰	有志	山崎禎弥 (2回生)	香美市社会福祉協議会	玉投げ 工科大生と高齢者交流 香美市物部町	2014/03/11(火)	物部	健康福祉
8 工科大 工⑤-1	有志		佐岡地区地域振興推進協議会	休校佐岡小に集まれ あす香美市 住民らイベント	2014/05/10(土)	佐岡	社会教育
9 工科大 工⑤-2	有志		佐岡地区地域振興推進協議会	休校の佐岡小にぎわう 豊穰祭に親子ら300人 香美市	2014/05/12(月)	佐岡	社会教育
10 工科大 工①-3	有志	坂本ひかる	三嶺の森をまもるみんなの会	三嶺山系 土壌流出防止 学生ら植物定着へマット 香美市	2014/05/21(水)	久保	自然環境
11 工科大 工⑱	有志出店		地元住民ら	ゴジラ 商店街闊歩 香美市「昭和横丁」にぎわう きょうまで	2014/09/21(日)	東本町	商工観光
12 工科大 工⑤-3	有志		佐岡地区地域振興推進協議会	休校の佐岡小にもキャンドル641個 香美市	2014/12/24(水)	佐岡	地域づくり
13 工科大 工㉒	有志			フリマで宮ノ口を元気に 住民初企画 工科大生後押し 香美市	2015/03/16(月)	宮ノ口	地域づくり
14 工科大 工㉔	有志		住民ら	レトロ商店街満喫 きょうまで 香美市で「昭和横丁」	2015/09/20(日)	東本町	地域づくり
15 工科大 工⑤-4	有志		佐岡地区地域振興推進協議会	豊穰の秋にぎわう 香美市・佐岡地区 菓子作りなど盛	2015/11/12(木)	佐岡	地域づくり

香美市で活動する学生(団体・個人)[高知新聞特集記事]

大学名	主体		主催	記事見出し	日付	地区	テーマ カテゴリ
	団体名	代表者					
1 高知県立大学 県③-2	活輝創生実行委員会 県立大おもてなし課な ど	平島亮介 (2回生)	立志社中プロジェクト 高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』 健康支援、運動会、特産米PR・・・ 県大「立志社中」丸2年 広がる輪 県内各地に 『地域de協働 奮闘！高知の大学生』 広がるクラウドファンディング 資金集め、情報発信に力	2015/04/11(土)	香美市	地域づくり
2 高知県立大学 県①-13	活輝創生実行委員会	平島亮介 (2回生)	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 県大 健援隊/活輝創生実行委員会	2015/04/25(土)	平山	地域づくり
3 高知県立大学 県①-15 県③-3	活輝創生実行委員会	平島亮介 (2回生)	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 県大 健援隊/活輝創生実行委員会	2015/07/11(土)	平山	健康福祉
4 高知県立大学 県⑤	paper'S	絹川翔瑠	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 県大 paper'S/県外大 高知FDインターン	2015/09/12(土)	平山	地域づくり
5 工科大 工⑦-3	KPAD		高知新聞	『今年のイチ押し』(5) 四万十市 しまんと住民プロジェクト/香美市 KPAD	2015/01/06(火)	宮ノ口	防災
6 工科大 工②-4	ココイコ！プロジェクト	島田憲吾 (2回生)	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』 高知工科大ココイコ！プロジェクト とりあえず行こう！ 香美市神池にどっぶり	2015/04/18(土)	神池	地域づくり
7 工科大 工⑨-2	香美市を盛りあげ隊	坂本彩 (4回生)	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』 教育、研究通し地域貢献 高知工科大 県内題材に活性化策	2015/05/23(土)	宮ノ口	地域づくり
8 工科大 工⑬	農業団体あーく あそしえ、KPAD	長谷達弥 島崎尚志	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 高知工科大 あーく/あそしえ	2015/07/18(土)	宮ノ口	地域づくり
9 工科大 工⑦-5	KPAD		高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 高知工科大 さめうらラバーズ/KPAD	2015/08/08(土)	宮ノ口	防災
10 工科大 工⑫-2	サイクリング部	谷井勲 (3回生)	高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』課外活動編 高知工科大 吹奏楽部/サイクリング部	2015/10/03(土)	宮ノ口	その他
11 工科大 工⑫			高知新聞	『地域de協働 奮闘！高知の大学生』活動・事業編 工科大生「マネチャレ」奮闘 住民と対話 課題解決へ 試行錯誤し企画、実行	2015/11/21(土)		地域づくり

4.事例抽出

分類	地域づくり
掲載日	2016年(平成28年)2月9日
地域	香美市土佐山田町平山地区
大学	高知大学

高知大生 香美市で自主映画

青春とユズへの熱意描く

高知大学生の映画製作サークル「21.(トゥエンティワン)」が、香美市を舞台に自主映画の撮影を進めている。学生の地域活動に対する市補助金を活用しており、タイトルは地元特産のユズにちなんだ「ゆず姫」。ユズ農家の息子を主人公に、青春やユズ栽培に懸ける熱意を描く。主演は高知大、高知工科大の学生で、地元の山田高校の生徒もエキストラとして参加する。公開は3月を予定し、学生たちは「地元の皆さんの期待に応えたい」と意気込んでいる。

(馬場 隼)

分 類	地域づくり
掲載日	2013年(平成25年)8月14日
地 域	香美市土佐山田町平山地区
大 学	高知県立大学

平山10年ぶり夏祭り

県大生が協力、花火に大歓声

香美市土佐山田町平山地区の活性化に取り組む高知県立大学(県大)の学生が協力した夏祭りがこのほど、旧平山小学校の運動場で行われ、大勢の住民らが約10年ぶりの祭りを楽しんだ。

3年前から同地区で活動する県大文化学部2~4年生が、人手不足で途絶えていた夏祭りを復活させようと準備を重ねてきた。

当日は18人の学生が参加。会場には学生と住民による夜店がずらりと並び、カラオケ大会やよさこい鳴子踊りに参加者の笑顔がはじけた。

最後に約150発の打ち上げ花火が山あいの夜空を彩り、住民は大歓声。学生は涙を流して祭りの成功を喜んだ。

3年生の野々下祐生(ゆうき)さん(21)は「多くの人が笑顔になってくれた」と感激し、地元の門田稔さん(51)も「最高の祭り。若い力で平山を盛り上げてくれてうれしい」と感無量の様子だった。

(山本 仁)

分 類	地域づくり
掲載日	2014年(平成26年)6月24日
地 域	香美市土佐山田町平山地区
大 学	高知県立大学

「公共性ある事業を」

県大生 ほっと平山に提言

約4年前から香美市土佐山田町平山地区の活性化に取り組む高知県立大学の学生らがこのほど、地元の交流施設「ほっと平山」の運営についての提言書をまとめ、施設職員に報告した。地域の見守り隊など福祉分野の活動や、自然体験教室などを提案。「地域の拠点として、公共性のある事業への取り組みを」と呼び掛けた。

提言書はA4判31ページで、同大文化学部清原泰治教授(地域文化論)のゼミで学ぶ3、4年生8人が執筆。ゼミの呼び掛けで復活した地区運動会など、施設を拠点にした交流事業や、昨秋実施した全102世帯への調査を踏まえ、課題分析や解決のための事業提案に多くのページを割いた。

課題に挙げたのは、高齢化に対応した福祉サービスや交通手段の確保、防災対策など5項目。解決策として、職員による見守り活動や配食サービス、通院や買い物の際の送迎事業などを列挙した。

地域振興に向けては、住民が“先生”となって竹細工や茶摘みなどを教える四季折々の体験イベント「平山時間割」を発案し「年間を通じての集客が期待できる」と提言。県や市の補助金などを挙げながら、各事業費の確保策にも触れた。

多彩な内容に、門田由紀子さん(32)は「地域を盛り上げられるよう、できることから頑張ります」と応えていた。

「ほっと平山」は、2005年度に休校した旧平山小校舎を、宿泊できるように改修し、07年7月にオープンした交流施設。地元住民らでつくる運営委員会が市から指定管理を受け運営している。

(山本 仁)

分 類	その他
掲載日	2014年(平成26年)12月26日(金)
地 域	香美市香北町美良布地区
大 学	高知県立大学

高知でいっぱい遊んで

県内団体 福島親子招き交流

東京電力福島第1原発事故によってストレスのかかる暮らしを強いられている福島県の親子ら4組が来高し、県内で約1週間過ごすプロジェクトに参加している。25日は香美市香北町の同市立やなせたかし記念館(アンパンマンミュージアム)などを訪れ、高知県立大学(県大)の学生らと体をいっぱい使って遊んだ。

東日本大震災後、被災地に県産野菜などを送る活動を進めているボランティアグループ「はちきん桜」(夕部美恵子代表)の主催。当初は夏の予定だったが、大雨の影響で延期し、本年度中に計7組を招待する。

23日に高知入りした5～12歳の子ども4人と母親や祖母が参加。地域課題に取り組む県大の学生プロジェクト「立志社中」で活動する看護学部の学生グループと一緒に、アンパンミュージアム前の公園でお尻につけた手拭いを取り合ったり、ボール遊びなどを楽しんだ。

5歳の双子の女の子と参加した佐久間明子さん(39)＝福島県三春町＝は「気兼ねなく外で走り回ったりでき、子どももすごく楽しそう。(高知で)2人が成長したんだな、って発見も多いです」と笑顔で話していた。

一行は29日まで滞在し、高岡郡四万十町や室戸市なども訪れる。

(松田 さやか)

分 類	地域づくり
掲載日	2015年(平成27年)4月25日
地 域	香美市土佐山田町平山地区
大 学	高知県立大学

地域de協働 奮闘！高知の大学生 広がるクラウドファンディング

資金集め、情報発信に力 ピザ窯再建へ28万円調達 県大生ら「あったかいお金」

高知県立大学には、一足先に成功した先達事例がある。香美市土佐山田町平山などで活動する学生団体「活輝創生実行委員会」だ。平山にある地域交流施設「ほっと平山」の老朽化したピザ焼き用石窯を新築する資金として、20万円を目標に今年2～3月、「クラウドー」に取り組んだ。延べ56人の支援を得て28万3千円を集めた。

「石窯は、先輩たちが地域のためにできることを、と助成金を使って建てたもの。その思いを自分たちも受け継ぐことができる」

中心となって進めた平島亮介(20)＝文化学部3年＝が満足げな表情を浮かべる。

先輩たちから続く平山での活動は既に5年ほど。石窯は住民の要望を受け、2012年10月に2基設置した。祭りや交流イベント、体験学習などに生かされ、地区の新たなシンボルに育っている。

建て替えの必要に際し、平島さんたちは1基分の資金集めを新しい手法でやってみようと「クラウドー」に着目。仲介サイトを通じて、自分たちの活動を広く知ってもらうことができ、支援者の情報も得られることから「賛同してくれる仲間ができた感じがする。あったかいお金が集まった」と平島さんは喜ぶ。

寄付者への特典は、平山で開く食事会のピザチケットなど。「物を贈るのは簡単だけど、自分たちの活動を知ってもらってさらに実際に来てもらうことにも意義がある」との思いからだ。

「家族と一緒にいってもいいか」との問い合わせもあり、「輪が広がっている感じがする」と平島さん。5月に石窯を造り、6月に食事会を開いて支援者をもてなす予定だ。

分 類	地域づくり
掲載日	2015年(平成27年)11月5日
地 域	香美市香北町猪野々地区
大 学	高知県立大学

県大生や住民ら華やかにおなばれ

香美市の神賀神社

香美市香北町猪野々の神賀神社でもこのほど、秋の神祭が行われた。御神幸(おなばれ)では高知県立大学の学生や住民ら約60人が太鼓らほら貝の音に合わせて山道を練り歩き、勇壮な武者や華やかなみこしの行列で山の集落がにぎわった。

県大生は1年生15人が「地域学実習」の一環で参加し、しめ縄作りなどを前日の準備から手伝った。

本番では、武者姿の男子学生を先頭に、太鼓やみこしなどの行列が社殿を出発。他の学生はてんぐのお面を手に持ったり、「吹ける人間がいない」と数年前から使われていなかったほら貝を吹いたりしながら後に続いた。

文化学部の中屋俊紀さん(19)は「伝統ある神祭や御神幸を通して、地域の一体感や団結力を感じた」と話していた。

(馬場 隼)

分 類	地域づくり
掲載日	2013年(平成25年)11月18日
地 域	香美市土佐山田町宝町地区
大 学	高知工科大学

香美市の日曜市を工科大生盛り上げ

120人が「おはまる市」

香美市土佐山田町の日曜市を盛り上げようと高知工科大生が17日、同市土佐山田町宝町1丁目の日曜市会場で、演劇や楽器演奏などを披露する「おはまる市」を開き、大勢の買い物客らでにぎわった。

店舗が減り、客足が低迷する日曜市の活性化を関係者に依頼された同大生の宮川結衣さん(23)らが昨年から開いている。

今回は学生約120人が参加し、吹奏楽やジャグリング、アカペラなどのサークルが次々に特設ステージで公演。今年も学生が力強い鳴子踊りの演舞を披露し、買い物客らは「迫力あるねえ」と大きな拍手を送っていた。

学生側の代表を務めた同大2年の光国裕大さん(20)は「学生と地域をつなげられてよかった。これからも交流を続けたい」と充実感いっぱい。日曜市の出店者らも「いつもより、すごくにぎやか。昔の市を思い出した」「若い人の力はすごい。ありがたいね」と目を細めていた。

(山本 仁)

分 類	防災
掲載日	2014年(平成26年)10月6日
地 域	香美市土佐山田町宮ノ口地区
大 学	高知工科大学

防災 ゲーム形式で学ぶ

工科大生 住民と“運動会”

高知工科大学の学生らによる防災イベントが5日、香美市土佐山田町の同大で行われ、災害時の対応をゲーム形式で身に付ける「防災運動会」や、カレーライスの炊き出しなどで、学生や住民ら約100人が防災への理解を深めた。

学生でつくる防災ボランティア団体「KPAD(ケーパッド)」を中心に初めて企画。気軽に楽しく防災を学ぶことを目的にした。

運動会では、机の下に身を隠したり、がれきに見立てたダンボール箱を乗り越えたりする「障害物競走」や、けが人やお年寄りなどの災害弱者に扮(ふん)する人と一緒にゴールを目指す「借り人競争」など、趣向を凝らした7種目が4チーム対抗で行われた。

参加した片地小学校4年の公文咲さん(9)＝同市土佐山田町佐古藪＝は「(借り人競争で)足を骨折した人を連れて歩いたけど、なかなか前に進めなかった。実際の災害では、しっかりと支えながら一緒に素早く避難したい」と話していた。

(馬場 隼)

分類	健康福祉
掲載日	2015年(平成27年1月1日)
地域	香美市物部町神池地区
大学	高知工科大学

世代を超えた協力 活力生む

高知工科大学×香美市物部神池 50人集落で知恵絞る

香美市物部町の神池地区では一昨年から、高知工科大の地域交流団体「ココイコ！プロジェクト」が活動中だ。

内容は、ユズやジャガイモの収穫に、地区名物のかかしの製作、運動会参加、キャンドル祭り開催と四季折々、多岐にわたる。人口は50人ほど、ほとんどが高齢者の集落に、若い力が活気を運ぶ。

「神池を元気にしようとやっている」と話すのは代表の島田憲吾さん(19)＝情報学群1年生、広島県出身。

県や香美市の呼び掛けで指導したプロジェクトながら、学生が自ら起こした行動も多い。

その一つが「なごみオープンカフェ」。手作りの蒸しパンなどの軽食を地元住民に振る舞う。「ユズの収穫期は忙しくて、ご飯を食べる時間もなくてね」という声を聞き、昨年11月に始めた。

神池の人々は「若いパワーをもらって、元気になりゆうみたい」と笑う。島田さんは「元気をもらっているのはこっちの方です」と首を振る。

「地元の皆さんもあたたかいし、普段の勉強とかを忘れてリラックスできる。こんなにいいところなんだから、もっといろんな人に知ってもらいたい」

地域と学生、二人三脚の取り組みは今年、3年目を迎える。

(馬場 隼)

分 類	地域づくり
掲載日	2015年(平成27年)1月23日
地 域	香美市土佐山田町平山地区
大 学	高知工科大学

地域と学生つなげよう 工科大生 あすサミット

香美市「ほっと平山」 活性化へ40人意見交換

県東部で地域活性化の拠点となっている施設同士や、活性化を支援する学生らの結びつきを強めようと、高知工科大学の学生6人が24日、香美市土佐山田町平山の「ほっと平山」で意見交換会「地域と学生がつながるサミット」を開く。施設関係者や県内3大学の学生ら約40人が参加予定。6人は「全員で意識を共有し、未来につながれば」と意気込んでいる。(馬場 隼)

マネジメント学部2年の高石聖也さん(20)ら。いずれも「地域共生概論2」を受講し、学生自らが地域活性化に向けた活動を企画・実行する「マネジメントチャレンジ」に取り組んでいる。

今回の企画は昨年9月、「一平山」のスタッフから「拠点施設の横のつながりが弱い。いい取り組みを吸収したり、共通課題があれば」と言われたのが発端だった。

高石さんらは県の地域支援企画員や同市の地域づくり支援員、他大学の学生らと協議し、サミットを呼びかけ。安芸郡奈半利町の「米ヶ岡生活体験学校」や長岡郡本山町の「汗見川ふれあいの郷清流館」など地域住民が主体となって、廃校舎や休校舎を宿泊・交流拠点としている6カ所の参加が決まった。

当日は午後1時に開会し、6施設と3大学学生の活動を紹介後、意見交換。シーズンオフの施設活用策、地域活性化に取り組むがくせいを増やす方策など、課題ごとにアイデアを出し合う。

高石さんは「サミットで地域と学生の新しい関係が生まれ、次につながれば」。一般観覧も可能で、問い合わせは、メールでマネジメントチャレンジチーム(kut.tiikikyousei2014@gmail.com)へ。

分類	商工観光
掲載日	2015年(平成27年)4月3日
地域	香美市土佐山田町逆川地区
大学	高知工科大学

外国語で龍河洞案内

工科大生 スマホアプリ開発

外国人が香美市土佐山田町逆川の龍河洞をより楽しめるようにと、工科大学の学生らが、外国語の音声・文字で洞内を案内するスマートフォンアプリを開発した。2日には、工科大の留学生が実際にアプリを利用して洞内を巡り「龍河洞の歴史がよく分かって楽しかった」と好評だった。

龍河洞保存会(岡崎淳一会長)によると近年、高松空港(香川県)と台湾の直通便就航などで、台湾人観光客が増加。中国や韓国などからも、観光業者が視察に訪れている。

このため保存会は昨年9月、「外国語の案内システムが作れないか」と工科大に依頼。情報工学を専門とする「情報学群」の高田喜朗准教授と学生8人が、授業の一環としてアプリ開発に取り組んだ。

完成したのは、基本ソフト(OS)がアンドロイドの端末にたいおうする「キャビゲーター」。留学生の協力を得て英語、北京語、台湾語、韓国語による音声・文章ガイドを搭載し、洞内の33ポイントについて、さまざまな形状の鍾乳石の成り立ちなどを説明する。

お披露目となるこの日は、開発メンバーや留学生ら約29人が、事前にアプリをダウンロードしたスマホを手に洞内を観光。音声ガイドに耳を傾けた。

中国人留学生で「システム工学群」のワン・イーナー助教(28)は2回目の訪問だったがアプリのおかげで、前回より歴史などを楽しめた」と話していた。

アプリ提供サイト「グーグルプレイストア」で「Cavigator」と検索してダウンロードできる。

(馬場 隼)

分 類	防災
掲載日	2015年(平成27年)5月29日(金)
地 域	香美市土佐山田町宮ノ口地区
大 学	高知工科大学

野草を災害時食料に

工科大生ら採集、調理に挑戦

地域防災に役立てようと、高知工科大学の防災サークル「KPAD(ケーパッド)」のメンバー約25人がこのほど、香美市土佐山田町の大学周辺で災害時に食料となる植物を採集し、調理にも挑戦した。

KPAD(ケーパッド)は「やって楽しい防災」をモットーに県内各地で活動している。今回は災害時の食料困窮を想定し、身近な野草を「食材」として捉えることを目的に取り組んだ。工科大・地域連携機構で有用植物を研究する村井亮介さん(32)が講師を務めた。

学生たちはキャンパスや近くの鏡野公園などを散策し、ヨモギやタンポポ、クズ、オオバコなどを採集。分布や特徴、用途などをまとめた後、白あえやまぜご飯、天ぷらなどにして食べた。

マネジメント学部2年、尾上夏菜さん(19)は「すぐそこに生えているような植物でも食料になる。そうした知識は、もしもの時に必ず役に立つ」と話していた。

(馬場 隼)

分類	防災
掲載日	2016年(平成28年)2月12日(金)
地域	香美市土佐山田町旭地区
大学	高知工科大学

園児 ゲームで防災学ぶ

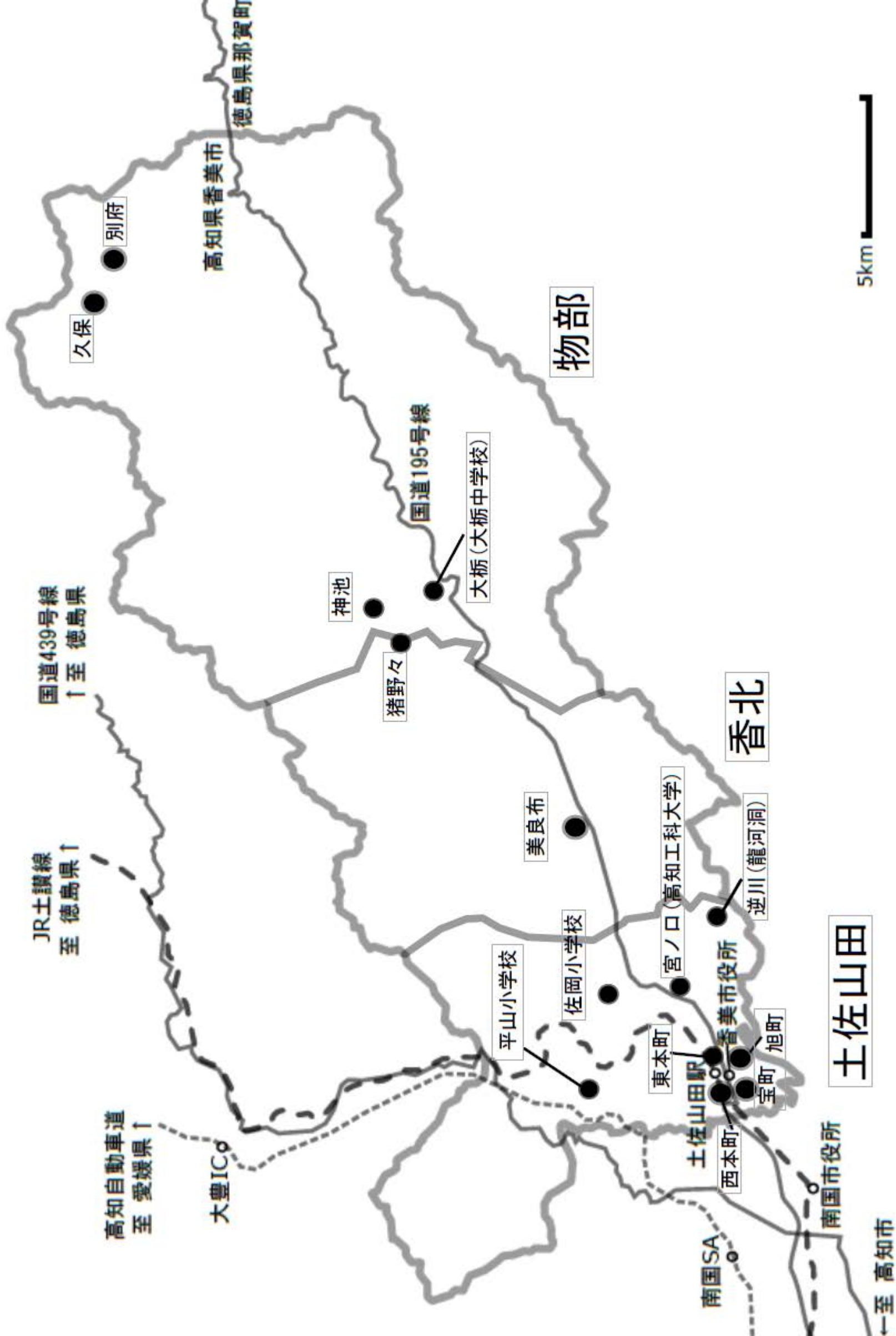
山田高生と工科大生企画

ゲーム形式で防災に親しむイベントが10日、香美市土佐山田町の山田高校で開かれ、近くの第二土佐山田幼稚園の園児約90人が、クイズなどを通じて災害時の対応などを学んだ。

同校の生徒が高知工科大生の防災サークル「KPAD(ケーパッド)」と初めて開いた。KPADは「やって楽しい防災」をモットーに、これまでに運動会形式などの防災イベントを開催。今回は山田高生が主な企画を練り、KPADの学生がアドバイスなどで協力した。

生徒約50人とKPADメンバー9人がスタッフとして参加し、園児は地震が発生した想定で同校に避難した。その後、3グループに分かれ、おじゃみを使った消化体験▶防災標語が書かれたかるた取り▶非常用持ち出し袋など災害時に必要な道具を覚えるクイズーといったゲームにそれぞれ挑戦した。

園児たちは一生懸命に取り組み、あちこちで「楽しい～」と笑顔が見られた。同校1年の岡村健心さん(16)は「(園児が)みんな防災に詳しくて驚いた。明るく、楽しくできたので良かった」と話していた。



5km

香美市で活動する学生団体(月別)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
高知大学	①										●		
	②		●										
高知県立大学	①	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	②								●	●	●	●	
	③				●			●					●
	⑤									●			●
	⑥							●					
	⑥												
高知工科大学	①				●	●							
	②	●			●	●							●
	③							●					
	④											●	
	⑤					●							●
	⑥								●		●		
	⑦	●				●				●	●	●	●
	⑧	●											
	⑨		●			●							
	⑩		●										
	⑪	●			●								
	⑫					●					●		
	⑬												●
	⑭							●					
	⑮									●			
	⑯												●
	⑰			●									
	⑱			●									
	⑲									●			
	⑳												●
	㉑		●										●
	㉒			●									
	㉓				●				●				
	㉔									●			
	㉕										●		
	㉖											●	
合同・連携			●	●								●	
		5	5	5	5	7	2	5	3	7	7	5	10

まとめ

高知新聞の記事をもとに、学校別に地域支援事業実施件数の構成比を見ると、高知工科大学がもっとも多く 57%であった(関連記事を含む記事掲載の総数から算出)。地理的要因が大きな理由だが、大学を挙げて「地域支援事業」に取り組む体制が窺える。

高知工科大学の「ココイコ！プロジェクト」、高知県立大学の「立志社中プロジェクト」は地域支援事業を行う学生団体に大学が助成する仕組みとなっている。また、高知県立大学では、1 回生が地域で学ぶ「域学共生」や地域文化論(清原ゼミ)など、カリキュラムの中に地域支援事業を組み込んでいる。

また、高知大学映像団体「21. (トゥエンティワン)」が自主映画を製作した事例では、香美市が約 50 万円を助成した。これは香美市が地域支援事業に取り組む学生団体に最大 50 万円助成する制度を活用した。

過疎高齢化が一段と進む高知県。地域課題を大学(生)達の様な外部人材を活用しながら解決し、集落維持に向けた取り組みはより一層重要となってくる。

「地域」「大学」「行政」が総力を挙げて地域の課題解決、集落維持に向けた姿勢や思いが文面から感じられた。

依光晃一郎県政報告会バックナンバー

平成 27 年

- 香美市における学生(団体)の活動実績・実態調査
- 加工食品製造業における物流実態調査

平成 26 年

- 香美市集落調査
- 香美市における小水力発電可能性調査

平成 25 年

- 香美市物部町神池地区地域活動調査
- 高知県大学生の地域活動調査
- 移住ニーズアンケート調査

平成 24 年

- 楽しく防災をめざした防災拠点づくりに関するアンケート

平成 23 年

- 香美市人口の推移

依光晃一郎後援会

〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目 446-1

TEL 0 8 8 7 - 5 2 - 9 2 2 2

FAX 0 8 8 7 - 5 3 - 2 0 7 4

URL <http://yorimitsu.gr.jp/>

E-mail info@yorimitsu.gr.jp

依光晃一郎後援会 HP よりダウンロードできます。

<http://yorimitsu.gr.jp/hokoku/>

複写・複製は可能です。積極的にご利用ください。